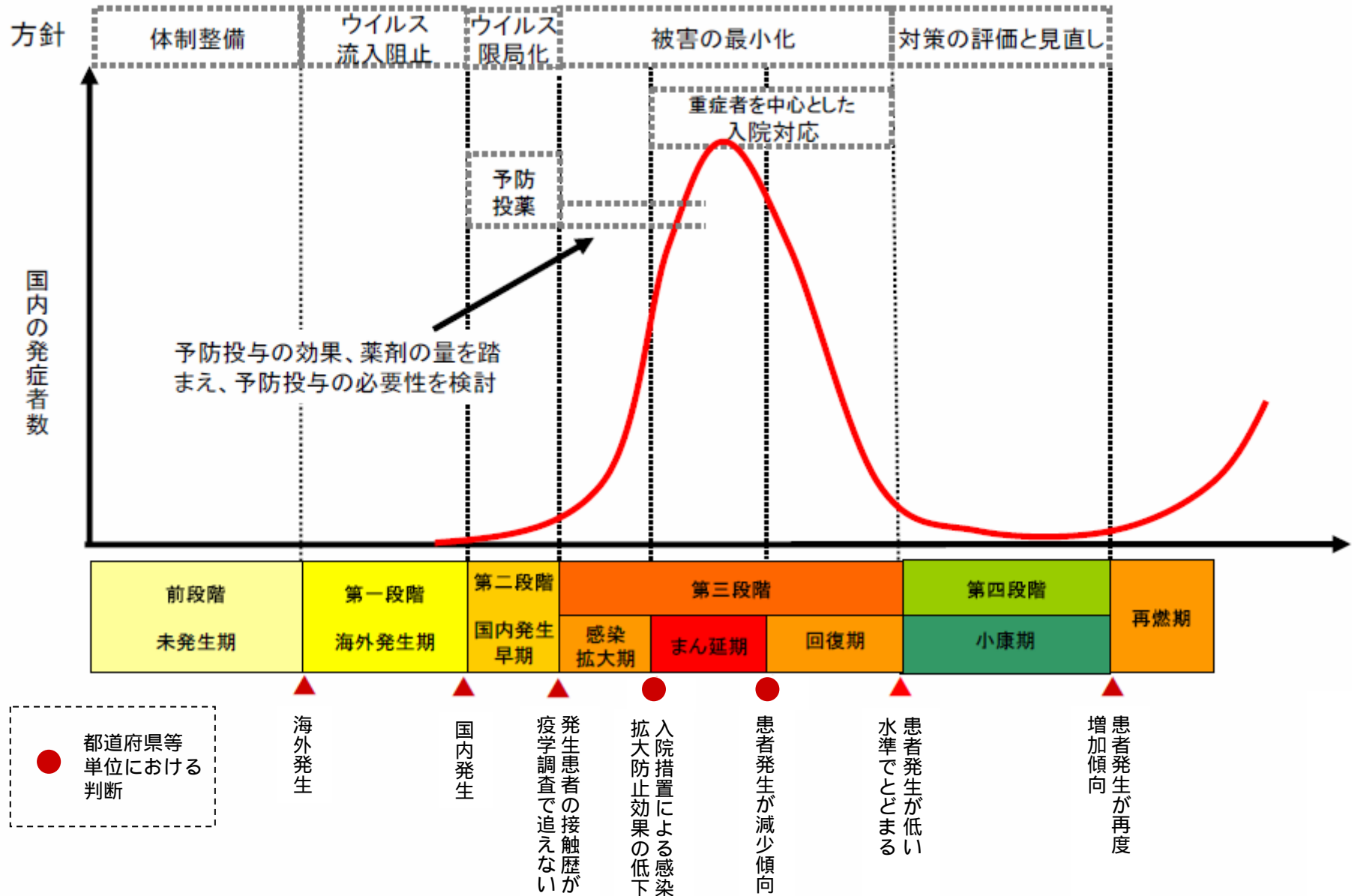


発生段階と方針



第一段階(海外発生期)

患者との接触者(例えば、航空機同乗者、家族、職場同僚)で症状等から新型インフルエンザを自ら疑った患者



直接受診

医療機関
(感染防止対策の強化)

相談

保健所等
(相談窓口設置)

新型インフルエンザの可能性が高いかどうか判断
初期診療対応協力医療機関受診の調整

紹介

疑い患者(マスクを着けて受診)

初期診療対応協力医療機関(約30機関)

目的:スクリーニングを行う

診察を行い、咽頭拭い液を採取する
保健所は、検体を地方衛生研究所に搬入する

新型インフルエンザが
疑われる患者
(任意入院)

医療機関に入院させて
隔離し、感染拡大を
防止する。(ウイルスの
封じ込め)

感染症指定医療機関(3病院、48床)
に任意入院

新型インフルエンザが検出
されれば、入院勧告

第二段階(国内発生早期)

新型インフルエンザの症状を有する者
患者との接触歴、流行国の渡航歴を有する者等



相談

保健所等
(相談窓口設置)

症状や状況を聞き取り、必要であれば受診を勧める

受診

有症者はマスクを着用して受診

医療機関
(感染防止対策の強化)

専用外来
目的: トリアージを行う
(新型インフルエンザ疑い患者は入院治療)
医師 + 看護師 + 事務 等
二次医療圏に1~2箇所程度設置
(受診者数等、状況に応じ) 数を増やしていく
診療内容: 問診、体温測定、診察等

医療機関に入院させて
隔離し、感染拡大を
防止する。

新型インフルエンザが
疑われる患者
(任意入院)

感染症指定医療機関に入院

新型インフルエンザが検出されれば、入院勧告

第三段階(まん延期)

新型インフルエンザの症状を有する者

入院勧告中止



直接受診

相談

保健所等
(相談窓口設置)

症状や状況を聞き取り、必要
であれば受診を勧める

受診

有症者はマスクを着用して受診

医療機関
(感染防止対策の強化)

専用外来

注)発生状況によっては、
対応可能な全ての医療機
関で対応する必要あり

目的:トリアージ+初期医療
(重症者は入院、軽症者はタミフルを処方して帰宅)

医師+看護師+事務等

二次医療圏に複数箇所設置

(受診者数等発生状況に応じ、設置場所、数を決定)

診療内容:問診、体温測定、診察、治療(タミフル処方)

重症者は、
医療機関で
治療する。

重症

医療機関に入院

軽症

在宅療養

軽症者は、
タミフルを処方して
在宅療養。